

特集号「カーボンナノチューブの科学と応用の進展」 投稿募集

「炭素」編集委員会
 主担当委員 村松寛之
 担当委員 加登裕也
 宮崎晃平

カーボンナノチューブは、他のナノカーボン類とは異なる優れた物理化学特性を有することが知られています。カーボンナノチューブの科学は、2000年頃からはじまったナノテクノロジーブームとともに飛躍的に進展し、従来の炭素材料では見られない多くの電子的・化学的な特性が理論と実験の双方から明らかになりました。熱狂的とも思われた時期を経て、落ち着いたと思われる今もお多くの注目を引き付けています。カーボンナノチューブは、近年の研究進展が著しいグラフェン科学にはない学術的な魅力や潜在的な可能性を大いに感じさせるだけでなく、革新が切望されている電子デバイス、複合材料、エネルギー材料、触媒、または生体材料などへの応用が見込まれています。これまでに明らかになっているカーボンナノチューブ独自の優れた構造・特性・機能などを、戦略的に活用した応用研究は重要です。しかし、用途によっては、期待された新機能を付与することや特性向上を十分に発揮させることが難しいといった課題も明らかになってきています。さらなる革新や、課題解決のための新たな可能性を開くためには、今まで蓄積されたカーボンナノチューブ科学の再共有や整理、または議論をすることが特に重要であると考えられます。

そこで本誌では、「カーボンナノチューブの科学と応用の進展」と題しまして研究成果を広く募集するに至りました。本特集では、用途開発などに関わる研究成果だけでなく、電子・電気・光・化学・機械特性といった特性や機能などに関わる研究成果や、合成研究なども含めた幅広い内容を対象といたします。今回の特集により、カーボンナノチューブに関連する最新の情報や研究成果が集まることで、基礎科学の進展や新たな用途開発、またはこれからの研究動向の理解に活用できるものと期待しております。多くの研究者・技術者の皆様からご投稿いただけますよう、お願い申し上げます。

投稿方法：はじめに、下記の応募締切日までに炭素材料学会編集事務局へ投稿のご予定をご連絡ください。そのうえで「炭素」投稿規定・投稿の手引きに従って原稿を作成し、特集号への投稿であることを明記のうえ、下記の原稿締切日までに炭素材料学会編集事務局へご投稿ください。

応募締切：2020年5月29日

投稿原稿の区分、タイトル、著者、連絡先を明記のうえ、E-mailにて炭素材料学会編集事務局(tanso-edit@bunken.co.jp)へ電子メールにてお申込みください。郵送にて下記の住所にお送りいただいても結構です

原稿締切：2020年6月30日

原稿の区分：論文(刷上り6頁以内)、総合論文(同10頁以内)、ノート(同3頁以内)、技術報告(同3頁以内)
内容：上記分野におけるオリジナルな内容で、印刷物として未発表のもの。原稿区分の説明については投稿規定をご覧ください。

審査：応募原稿は、通常の炭素誌への投稿原稿と同様の審査を行う。

掲載：炭素295号(2020年11月発刊予定)

投稿規程・投稿の手引き：<http://www.tanso.org/contents/journal/notice2017.pdf>

申込・問合せ先：〒162-0801 東京都新宿区山吹町332-6 パブリッシングセンター

(株)国際文献社内 炭素材料学会編集事務局

TEL: 03-6824-9363 FAX: 03-5206-5332 E-mail: tanso-edit@bunken.co.jp